



もみじと雪(箕面公園)

<http://www.minoh-hp.jp>

編集発行：箕面市立病院 患者サービス・広報委員会 ☎ 072-728-2001(内線2719)

INDEX	1. 体にやさしい「鏡視下(内視鏡)手術」 —— P.1.2	5. インフルエンザ感染を防ぐには —— P.5
	2. Wave of Nursing (総合案内の役割) —— P.3	6. 地域医療室だより・部門紹介(臨床工学部) —— P.6
	3. 診療科からのメッセージ(眼科) —— P.4	7. 平成22年度実績報告 —— P.7
	4. はじめまして赤ちゃん —— P.5	8. みなさまの声・講座のお知らせ —— P.8

体にやさしい「鏡視下(内視鏡)手術」

当院では、患者さまの体にとって痛みや負担の少ない鏡視下(内視鏡)手術に力を入れています。この手術は、開腹・開胸手術とは異なり、体に大きな傷をつけることなく手術が可能です。また、術後の痛みが少なく、早期に回復し社会復帰が可能な、体にやさしい手術です。

外科、婦人科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、整形外科で、患者さまの病状、体の状態を把握し、鏡視下(内視鏡)手術の適応と判断される症例には、積極的に鏡視下(内視鏡)手術を実施しています。また、日本内視鏡外科学会技術認定医も在籍し、安全で質の高い手術の実施に努めています。

今年度は、専用の手術室及び専用の手術機器を増設し、より多くの患者さまの受け入れができるように体制を整備しました。

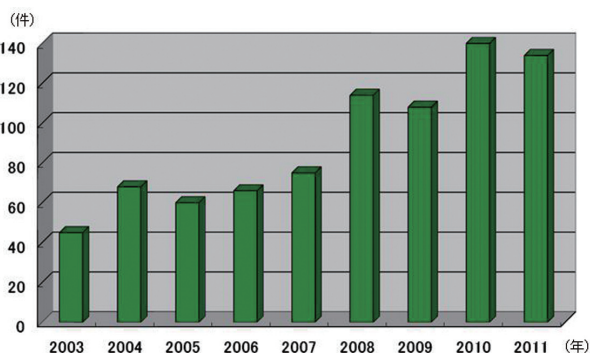
ここで各診療科の状況をお知らせします。

外科

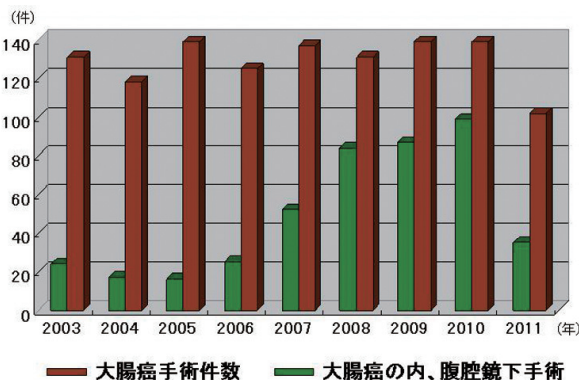
外科の鏡視下(内視鏡)手術では、主に胆石症や大腸がんなどの治療を行う「^{ふくくうきょうか}腹腔鏡下手術」と、^{きょうくうきょうか}気胸などの治療を行う「^{きょうくうきょうか}胸腔鏡下手術」を実施しています。いずれもお腹や胸に小さな穴を数か所あけて機器を挿入して手術を行います。

標準的な入院期間は、胆石症では開腹手術の場合は

9日間ですが、腹腔鏡下手術の場合は5日間です。なお、症状によっては、日帰り手術センターで1泊2日の入院による手術も可能です。また、大腸がんでは、鏡視下(内視鏡)手術の割合が年々高くなっているのが当院の特徴です。



〔腹腔鏡下胆嚢摘出術の件数の推移〕
(2011年は9月までの実績)



〔大腸がんの手術件数と腹腔鏡下手術の件数(内数)の推移〕
(2011年は9月までの実績)

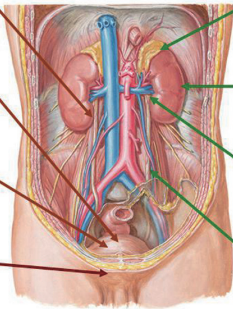
泌尿器科

泌尿器科の鏡視下(内視鏡)手術では、尿道に機器を挿入して行う「経尿道的手術」や体に小さな穴を数か所あけて機器を挿入する「体腔鏡手術」があります。それぞれの適用疾患は図のとおりです。

経尿道的手術は、古くから標準治療として実施され

経尿道的手術

- 尿管結石
経尿道的尿管結石砕石術(TUL)
- 膀胱腫瘍
経尿道的膀胱腫瘍切除術(TURBT)
- 膀胱結石
経尿道的膀胱砕石術
- 前立腺肥大症
経尿道的前立腺切除術(TURP)

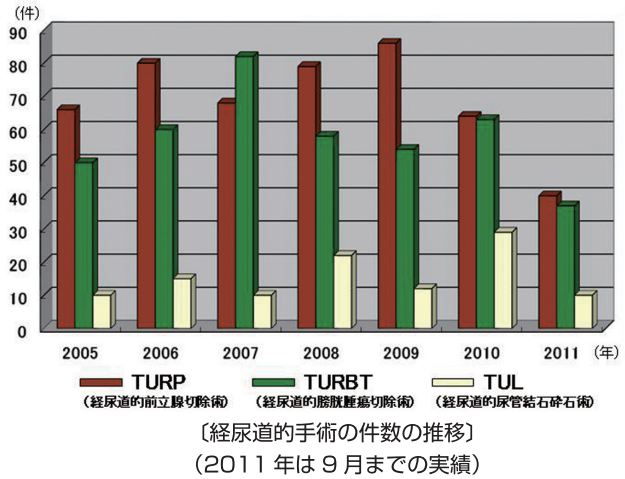


体腔鏡手術

- 副腎腫瘍
腹腔鏡下副腎腫瘍切除術
- 腎腫瘍
後腹膜鏡下根治的腎摘除術
- 腎盂尿管移行部狭窄
腹腔鏡下腎盂形成術
- 腎盂尿管腫瘍
後腹膜鏡下腎尿管全摘術

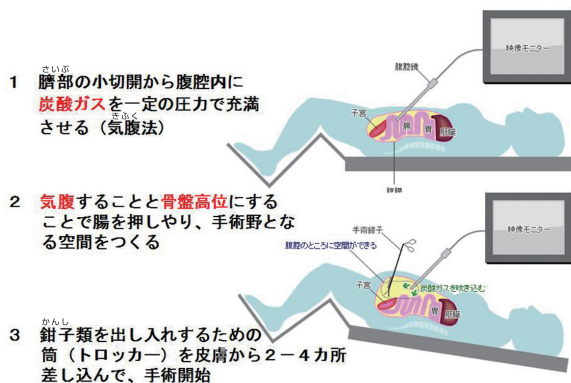
〔経尿道的手術と体腔鏡手術の適用疾患〕

ており、当院でも、年間150件を超える手術を行っています。体腔鏡手術は近年増えてきている手術で、まだ件数は少ないですが、副腎腫瘍摘出では全て体腔鏡手術で実施しています。



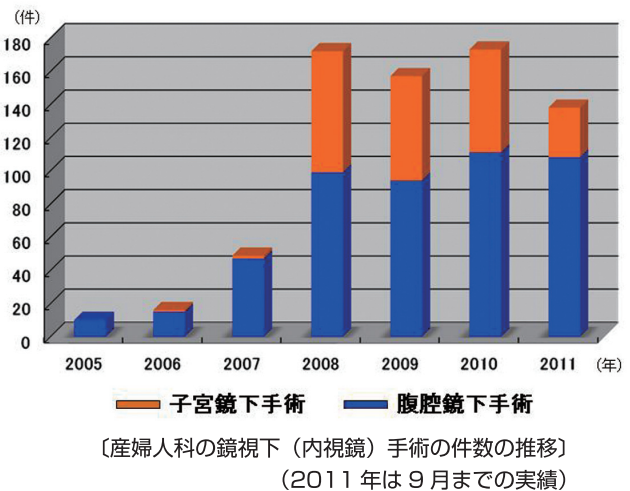
産婦人科

産婦人科の鏡視下(内視鏡)手術では、子宮に機器を挿入して行う「子宮鏡下手術」や「腹腔鏡下手術」を実施しています。子宮鏡下手術では、内膜ポリープ、粘膜下筋腫など、腹腔鏡下手術では、子宮筋腫、卵巣腫瘍、子宮内膜症などの治療を行っています。手術を開始するまでの流れは図のとおりです。



〔腹腔鏡下手術の開始まで〕

産婦人科での鏡視下(内視鏡)手術は、体に負担が少ないなどの特徴に加え、傷跡が目立たないため、美容的なメリットもあります。手術件数は、北摂の病院の中でもトップクラスの実績です。



内視鏡手術のメリットとデメリット

メリット

- 手術の創(きず)が小さく、あまり目立たない
- 手術後の痛みが少ない
- 手術後の回復が早い
- 入院期間が短く、早期に社会復帰ができる

デメリット

- 手術の視野が制限され、手術器具の操作が制約されるため、高度な技術を要する
- 従来の手術に比べて手術時間が長くなる
- 炭酸ガスをお腹の内部に入れるため、高炭酸ガス血症や不整脈を起こすことがある

当院での鏡視下(内視鏡)手術を希望されるかたは、お近くのかかりつけ医にご相談ください。

Wave of Nursing

「総合案内の役割」— よりスムーズに外来受診をしていただくために —

外来看護師長
羽田 誠子

総合案内では、総合外来、専門外来、救急総合診療部を患者さまに適切に受診していただくとともに、地域のかかりつけ医との役割分担による紹介予約制をより充実させることを目的として運営しています。

当院は、地域医療支援病院として地域のかかりつけ医と連携し、一層安全で質の高い医療を提供することが求められています。そのために外来受診の入口である総合案内がいかに機能するかが重要な鍵となっており、今回はその主な機能と役割についてご紹介します。

■総合案内の機能— トリアージ (受診科の選択と医師の案内)

総合案内は、各看護師長が交替で午前中の受付終了時間までに1日平均15~20件の受診科の相談をお受けしています。総合案内での重要な役割は「適切なトリアージ」です。時には経験豊富な看護師長でも迷うことがあり、特にかかりつけ医からの診療情報がなく判断が難しい時は外来診察中の医師にも相談します。勤務医が不足している耳鼻いんこう科と整形外科は医師が入院治療や手術に専念できるように、救急患者さまを除いて「完全紹介・予約制」をとっているため、そのご説明と近隣のかかりつけ医のご案内をしています。

また急な下痢、嘔吐、発熱、気分不良や事故による外傷などの場合は、救急総合診療部にご案内し、重傷度によって優先的に診察しています。早急なケアを必要とするかどうか症状を的確に把握することが重要で、慎重かつ機敏な判断が求められます。私達は各自が日々の実践の中で責任を持って適切なトリアージができたかどうかを振り返りながら対応しています。



■総合案内の役割— 診療相談

総合案内ではトリアージを行うなかで、患者さまが診察中に聞けなかった検査結果のご説明、糖尿病や高血圧の生活指導、思春期や高齢者のケアに関するご家族の不安などさまざまな診療に関するご相談をお受けしています。その場で解決できない場合は、専門の薬剤師や栄養士、または担当の看護師に対応を依頼するなどの措置をとります。

1日約700人の全ての外来患者さまが安心して診察を受けていただけるようご案内していますが、時には厳しい「お叱り」を受けることも。またその反面「相談後、前回より検査結果が改善しました」等、わざわざ立ち寄られる患者さまのお声に励まされながら、また決意を新たに背筋を伸ばし、笑顔で案内に立つ毎日です。



診療科からのメッセージ

眼科 — 白内障について —



眼科主任部長の西です。平成 8 年 4 月赴任で院内でも古株になってきました。

現在眼科は、医師 3 名（西・金山・浅川）、視能訓練士 1 名（松本）、看護師のスタッフで診療にあ

たっています。今回は、当院で行っている白内障の手術についてご紹介します。

◆白内障について

白内障は目の中のレンズ（水晶体）が加齢に伴い濁ってくる病気です。進行すると徐々に見えにくくなり、車の運転に不安があるなど生活に支障が生じるようになれば手術が必要となります。

手術は局所麻酔で行い、通常は10～15分で終了します。当院では日帰り入院での手術も行っています。手術希望の患者さまが多く、昨年までは 4 か月程お待ちいただく必要がありましたが、手術の枠数を増やし現在は約 2 か月待ちとなっています。

「最近、物がかすんで見える」というかたは、お近くの眼科医院を受診してみてもはいかがでしょうか？

視能訓練士の仕事

病院での検査といえば、血液検査、尿検査、心電図、レントゲン検査などを思い浮かべるかたが多いのではないのでしょうか。これらはもちろん重要な検査ですが、眼科では主に視力検査や視野検査などを行っています。これらの検査を行うのが視能訓練士（ORT：Orthoptist）です。

視能訓練士は厚生労働大臣の免許（国家試験に合格）が必要な資格です。

白内障の診断には視力値が、緑内障の診断には視野障害の有無や眼圧値が、斜視の診断には立体視や両眼視機能の異常の有無が重要で、これらの検査結果が確かなものでなければ診断を誤ることになりかねません。

視能訓練士は各種検査機器を使用し、屈折検査、矯正視力検査、精密眼圧検査、角膜曲率半

径計測、両眼視機能精密検査、精密視野検査、眼筋機能検査などを実施します。

当院の視能訓練士もこれら検査を的確に実施し診療を支えています。



【視野検査の様子】

今後も、スタッフ一同力を合わせて診療にあたりますので、よろしくお願いいたします。

はじめまして赤ちゃん



平成 23 年 11 月 2 日 生まれ かずみくん



ようこそ かずみくん！
私たちのもとに生まれてくれてありがとう。
あなたは、私たちの宝物です。
どんなときも自分らしく、伸び伸びと
おおらかに育ててくださいね。

(ママより)

出産前後の不安なとき、病棟のスタッフの皆さまの
親身での確な対応がとてうれしく、心強かったです。

また、授乳や沐浴などの指導も丁寧にしていただき、
勉強になりました。

食事が毎回とてもおいしく、おやつも出ます！陣痛
で食べられなかったときは、残念なくらいでした…。

今度は、出産予定の妹をよろしくお願いします。

人生初の素敵な経験をさせていただきました。

皆さまありがとうございました。



須齋 純子さん

インフルエンザ感染を防ぐには



感染管理認定看護師
佐藤 久美子

インフルエンザウイルスは、低温と乾燥した空気を好むため、12月から感染者数が増加し、1月～3月にピークを迎えます。予防方法は次のとおりです。

①ワクチン接種

ワクチンは効果出現までに2

週間程度かかります。かかりつけの医療機関と相談の上、できる限り接種されることをおすすめします。

②飛沫感染対策（咳エチケット）

インフルエンザは、咳やくしゃみなどの飛沫が鼻や口の粘膜に付着することでうつります。人ごみなど近距離で人と接する場合にはマスクの着用が有効です。咳エチケットとは、症状のある人がマスクやハンカチなどを用いて周囲へ「うつさない」ための対策です。

③うがい、手洗い

乾燥予防の湿度調整やうがいも効果的です。また、インフルエンザに限らず感染予防の基本は手指を清潔にすることです。最近では薬局でもアルコールタイプの手指消毒剤が購入できます。指先や指の間までしっかり

りきれいにするには少しコツが必要です。家族みんなで練習してみるのもよいと思います。（市立病院のホームページ「正しい手洗い、感染予防」をご覧ください。動画で説明しています。）

感染予防は、自分を守るため、そして周囲の人を守るために行うものです。しっかり取り組んで、インフルエンザ流行時期をみんなで乗り越えましょう。

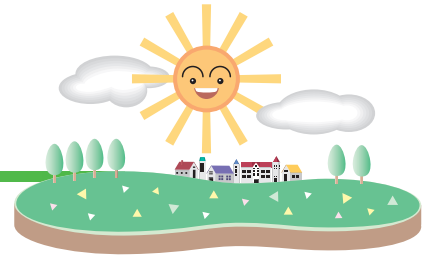
アルコールタイプ 手指消毒の手順

アルコールの場合は指先から!!



株式会社 SRL ホームページ「手指衛生促進ツール」より

地域医療室だより



●平成23年度箕面市病診連携懇談会・研修会が開催されました



【病診連携懇談会の様子】

箕面市医師会と市立病院との意見交換・交流の場として、毎年懇談会・研修会を開催していますが、今年は10月15日(土)に開催しました。

当日は、東日本大震災での支援活動報告のほか

市立病院の取り組みについての発表があり、泌尿器科と産婦人科の医師から、内視鏡を使った手術について、手術の動画を交えて発表を行いました。出席者は79名で、活発な意見が交わされました。地域連携の推進に向けた取り組みとして、来年度以降も継続して開催します。

●当院あて専用の「診療情報提供書」と「封筒」ができました

地域の医療機関とのよりスムーズな連携を図るための取り

組みとして、当院へのご紹介時に「かかりつけ医」の先生にお使いいただく専用の診療情報提供書(複写式)と封筒を作り、8月から地域の医療機関にお配りしています。



↑専用封筒

←診療情報提供書

「かかりつけ医」(ホームドクター)をお持ちいただき、その紹介で市立病院を受診いただき、地域医療連携にご協力ください。

部門紹介

臨床工学部

臨床工学部は、平成21年に発足したまだまだ新しい部門です。現在は、臨床工学技士2名が在籍しています。

臨床工学技士とは、医療の進歩に伴い、高度化・複雑化する医療機器の保守点検を行い、ベストな状態を維持し医師の指示のもとに操作を行うことを主な業務としています。

また、医師や看護師などの医療スタッフとチームを組んで以下の業務を行っています。



山元祐宏技士

福田将誉技士

『**心臓カテーテル検査業務**』：心臓カテーテル検査や治療で使用するポリグラフ装置及びIVUS(血管内超音波装置)の操作・点検など。

『**ペースメーカー関連業務**』：ペースメーカーの植込み後のフォローアップ時の機材の操作・データの管理など。

『**血液浄化療法業務**』：集中治療部での急性血液浄化を中心に、持続血液濾過透析・血漿交換・血液吸着や外来での白血球除去療法の準備や施行中の監視など。

『**手術部業務**』：生体情報モニタ、電気メス、鏡視下(内視鏡)手術装置をはじめとした各種装置の管理。

『**ラジオ波焼灼療法業務**』：肝臓がん、肝腫瘍の治療として行う装置の操作。

『**医療機器保守管理業務**』：人工呼吸器・輸液ポンプなどの医療機器の点検や修理など。



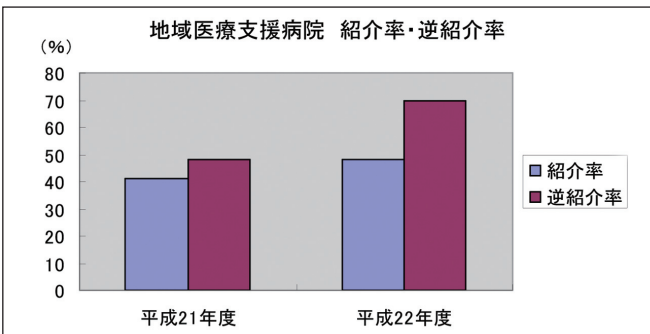
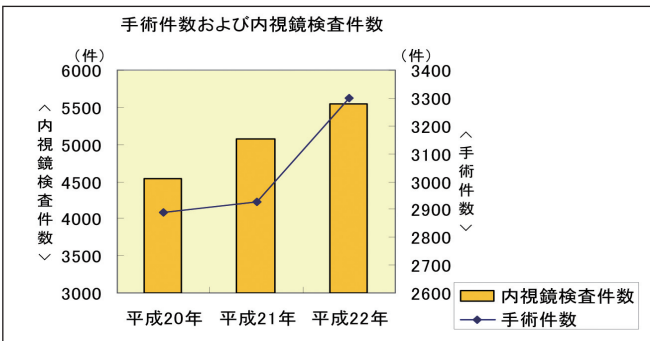
←手術室の機器点検作業の様子

市立病院 平成22年度実績報告

●地域医療の中核を担う病院として

当院は平成22年11月に「地域医療支援病院」の承認を受けました。地域医療の中核を担う病院として、かかりつけ医との連携をとり、患者さまの病状に合った医療の提供を行える体制を整えています。また入院や手術、専門的な治療を必要とする患者さまに対し、高度かつ専門性の高い医療の提供を行うことを使命のひとつとして、かかりつけ医などからの紹介患者さまを積極的に受け入れています。

そして、病状が安定した後はかかりつけ医のもとでその後の経過を診ていただいています。

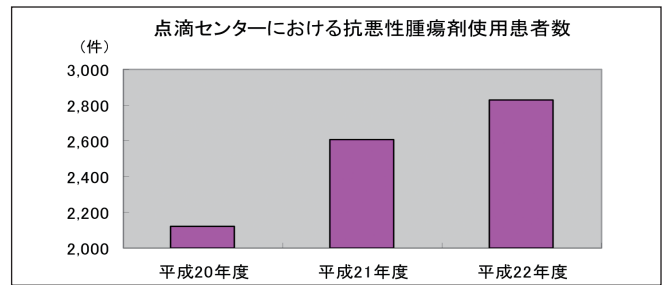


●がん治療をささえるチーム医療

当院は、平成22年4月1日から大阪府がん診療拠点病院の指定を受けたことをきっかけに、がんの治療をはじめとした多岐にわたるがんへの対応に取り組むため、平成22年4月にがん診療推進部を設置しました。

がん診療推進部の役割

- ・ **カンサーボードの実施**
診療科の枠を超えた診療体制のもとで、がん患者さまの治療方針等の意見交換や検討を行います。
- ・ **がん相談室**
がん患者さまに対する相談支援及び情報提供を行います。
- ・ **セカンドオピニオン外来**
- ・ **緩和ケアチームによるがん患者さまやご家族への身体的、精神的サポート**
- ・ **がん診療地域連携バスの運用**
当院でがんの手術などの専門的な治療を行った後に、かかりつけ医との診療計画を策定し、共同で診療を行います。



●ますます増える糖尿病と闘うために

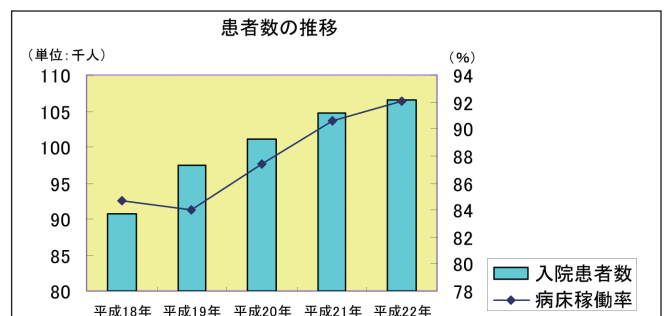
当院では平成21年に糖尿病センターを開設し、さまざまな合併症に対しての共同診療を行ってきました。平成22年度には糖尿病地域連携バスの運用を開始し、当院での治療の後、継続して必要となる治療をお近くのかかりつけ医のもとで安心して受けていただける体制を整えました。

糖尿病センターの役割

- ・ 糖尿病・内分泌専門外来、糖尿病合併症外来
- ・ 外来栄養指導、インスリン導入指導、自己血糖測定指導、フットケア指導の実施
- ・ 糖尿病教室や糖尿病サロンの開催
- ・ 糖尿病地域連携医療の推進



以上、平成22年度は入院を必要とする患者さまを中心とした専門性の高い治療を担う体制を強化することに努めてきました。その結果、入院患者数が増加し、外来に関しては紹介患者さまを多く受け入れることができました。今後も高度な検査や専門性の高い治療を担う病院として、医療の充実を図っていきます。



××+ +××+ +みなさまの声 + +××+ +

当院では、みなさまから寄せられたご意見・ご要望をもとに患者サービスの改善に取り組んでいます。ご意見・ご要望の内容についてご紹介します。

Q1. 駐車場利用料金について、外来診察で駐車場を利用する場合、料金は無料になりませんか。

A1. 駐車場整備や運営にかかる費用を、駐車場ご利用のかたに公平に負担していただくため、料金をいただいています。なお、診察受付のみの場合や支払いなど簡便な要件で来院されたかたには負担がかからないよう、30分以内は無料としています。

また、障害をお持ちのかたや時間外の救急患者さまなど、自家用車以外での来院が困難なかたについては、24時間無料としています。

講座のお知らせ

市立病院開院30周年記念事業「市民医療講座」

市立病院では、各診療科の専門医が、診療内容や最新の情報をお伝えする「市民医療講座」を開催しています。今年度は5回の講座を実施しており、多くのかたに参加していただきました。次回以降の講座は一覧のとおり

です。みなさまのご参加をお待ちしています。(参加費無料・申込不要)

*ただし、手話通訳・要約筆記を希望されるかたは、開催日の1週間前までにお申し込みください。

日時	内容・講師	場所
平成24年2月4日(土) 14:00~16:00	高血圧の治療の温故知新 講師：市立病院 内科主任部長 金井秀行医師	市立メイプルホール 小ホール
平成24年3月10日(土) 14:00~16:00	新生児の発達と体操について 講師：市立病院 助産師	市立みのお市民活動センター 多目的室

看護師スキルアップ研修

市立病院では、地域の医療者のスキルアップのため、看護師免許をお持ちのかたを対象に、10月から研修会を開催していますので、ぜひご参加ください。

*研修には市立病院職員も参加します。

対象：市内及び近隣市に在住の看護師免許をお持ちのかた(在職の有無は問いません)

申込み：申込書に住所、氏名、年齢、連絡先、ご希望の研修コース名、受講動機を記載し、ファックスまたはメールでお申し込みください。

*申込書は、市立病院ホームページからダウンロードできます。

コース名	日時	内容・講師	申込締切
糖尿病研修②	平成24年1月20日(金) 17:15~18:15	フットケア 講師：市立病院 糖尿病療養指導士	1月13日(金) ※このコースのみ定員10名
しよくそう 褥瘡予防・治癒促進に 必要な栄養管理	平成24年1月26日(木) 17:15~18:30	しよくそう 褥瘡予防・治癒促進に欠かせない 栄養管理の方法を学ぶ 講師：市立病院 管理栄養士	1月19日(木)

*お申し込み・お問い合わせ：市立病院経営企画課 TEL:072-728-2034 FAX:072-728-8232 メール：hospital@maple.city.minoh.lg.jp

青空

新年明けましておめでとうございます。

昨年3月11日、自然そのものが圧倒的に自然や環境の資源を破壊していく姿を、私たちは目の辺りにしました。ありとあらゆるものが津波に押し流されていく光景には声も出ませんでした。日本中が無力感と喪失感に覆われてしまいました。しかし、その後に確認されたことは、世界の人のつながり、もちろん日本人同士の、そして地域のコミュニティの人と人とのつながり・ネットワーク・絆でした。昨年を象徴する漢字に《絆》が選ばれたのも納得がいきます。被災地の一日も早い復興を祈るばかりです。

今号は、箕面市立病院として力を入れている、主に鏡視下(内視鏡)手術について特集をいたしました。開腹・開胸手術とは異なり、体に大きな負担をかけることなく、痛みも少なく早期に回復し社会復帰が可能な、体に優しい手術です。この手術件数は、北摂の病院の中でもトップクラスの実績がありますので、ご相談ください。

インフルエンザの季節真っ只中ですが、手洗いやうがいなどで予防を怠りなく!!

皆さんにとって、今年一年が良いお年でありますように!! (T.S)